美里中学校人権サークル(Rainbowの会)は、生徒自身が美里中学校にも自主的に人権について学ぶ場を創っていきたいと他校区の人権サークルの様子を学びスタートしました。Rainbowの会は、全校生徒の誰もが自分が参加したいと思ったときに参加でき、全校の約３分の２(約70人)の生徒が参加しています。会の企画や運営は、人権について積極的に考えたいという３年生の立候補による実行委員(今年は17人)が中心となって進めています。学年のつながりはもちろん、学年をこえた縦のつながりを大切にし、身近なところからいじめや差別を許さないつながりづくりを目指しています。活動は、自分たちが大切にしたい思いを漢字１字に込め、ポスターを作成して啓発活動を行ったり、体育館で人権ゲームをしたり、テーマを決めて自分の思いや考えを交流し合ったりしています。

実行委員の中には、「人はそれぞれ価値観が違う」「自分の思いや考えをしっかりと相手に伝えていきたい」「相手の考えを知ることで新しいことに気付き、思いをしっかり聴いて受け止めることで自分がより良く変わっていきたい」と思っている生徒もいます。

また、地域の行事である美里人権フェスティバルでは、地域の皆さんと一緒に運営に関わり、自分たちの活動について発信しています。

南郊中学校人権サークルは、近年だんだんと活動が停滞し、２年前にはメンバーがいなくなってしまいました。しかし昨年度、１～３年生19人のメンバーが集まり、「黒ひげメンバーズ」という名前で活動を再開しました。隣にある県立盲学校の先生たちの思いを聞く機会を持ったり、本校を卒業した人権サークルの先輩の皆さんの話を聞いたりしました。また、自分たちの思いや悩みを出し合って、それを返していくことでお互いのことを知り合う活動も行いました。その活動から気付いたことや自分で整理したことをもとに、南郊中学校区人権フォーラムや南郊地区人権フェスティバルでパネルディスカッションをしました。

今年度は「Big Family　黒ひげーず」という名前で活動をしています。「今は７人と人数が少ないけれど、Big Familyのように人数を増やしたい。家族のような温かい雰囲気で何でも話せるようにしたい」という思いを込めて、この名前を付けました。今は、他の中学校の人権サークルと交流をしたり、いじめについて考えることをきっかけとして、自分の思いを出し合ったりする活動をしています。

今後は、もっとメンバー同士が、自分の生活や生活課題を語り合い認め合う活動をしながら、気付いたことや自分の思いを整理して、全校人権集会や人権フォーラム、人権フェスティバルなどで発信していこうと考えています。活動を通して、みんなが「南郊中で良かった」と思えるような学校を目指していきたいと考えています。

教育集会所学習会(美杉中学校)では、学習会のメンバーで自分たちの思いを語り合い、伝え合う場を持ってきました。

参加している子どもたちは、原則として月２回木曜日に集まって、お互いが自分を語れて共に行動できる、差別を許さない仲間を目指して活動しています。夏休みに行った水平社博物館とその周辺のフィールドワークでは、水平社発祥の地を実際に歩いて、自分の目で見てきました。そして先人たちの人権獲得の闘いや足取りを振り返り話し合う中で、一人一人学んだことを自分のものにしていくことができました。

毎年12月に行われる「美杉人権のつどい」では、学習会のメンバーが司会・進行・受け付けなどを務めています。今までの人権学習を通して学んだことや、反差別の思いや生き方について、広く美杉中学校区の皆さんに訴えています。そのことで年々、美杉地域に人権を考える輪が広がっています。

これからも身近なことから人権について考え、自ら発信する場として歩んでいきたいと考えています。